議会広報 かみいち

2026
49号
令和8年11月1日



９月定例会の要点……Ｐ２
委員会報告……Ｐ３～４
一般質問……Ｐ５～８
追跡レポート……Ｐ９
研修報告……Ｐ９～10
特集「上市町のごみ処理を考える」‥Ｐ11
町民の声……Ｐ12

（写真）相ノ木小学校 相撲大会
令和８年７月１０日（金）

発行／上市町議会
編集／議会広報特別委員会

令和８年度（2026 年）

９月定例会 審議の要点

９月７日(月)▶
９月25日(金)開催

提出された全23件の議案について審議を行い、
すべて 原案のとおり 可決・承認・認定・適任としました。

審議結果はこちら

令和8年度 9月補正予算［各会計の概要］

一般会計
5114万1千円

特別会計
・地域開発事業特別会計
1920万円

・国民健康保険事業特別会計
0円(組み替え)

企業会計
・下水道事業会計
788万5千円

・水道事業会計
0円(組み替え)

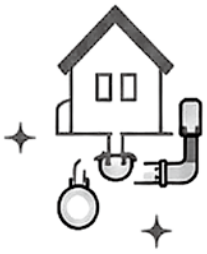
・病院事業会計
［収益的収入］ 3259万9千円
［資本的収入］ 670万円
［資本的支出］ 984万3千円

★注目トピック・主な改正議案

議案：下水道事業受益者分担金

一律30万円に改正

【受益者分担金とは】
公共下水道を利用するため、最初に一度だけ負担するお金です。



★債務負担行為補正

令和９年度～令和28年度
義務教育学校整備事業費
150億4580万円



令和９年度
上市高校生資格取得支援事業費
120万円

資格試験等の受験料を「年間最大１万円・３年間で最大３万円」補助



くらし・教育・重点支援事業（補正予算の主な内訳）

国重点交付金等を活用した支援事業

1 高齢者インフルエンザ予防接種補助事業費 758万円
2 病院事業費補助金（給食費物価高騰分） 500万円
3 プレミアム商品券事業 1200万円
4 物流業燃油価格高騰対策事業費補助金 600万円
補助率100%（※１事業者あたり上限50万円）

教育環境（GIGAスクール）の整備

●小中学校指導者用端末の取得
1588万円

【内容】
・指導者用 2in1ノートパソコン１式
・端末本体 50台
・リカバリメディア １セット
・有線LAN拡張アダプター 10個



今回の本会議のYouTube 配信はこちら!

本会議の様子を YouTube でご覧いただけます。

9/7(月)	9/11(金)	9/11(金)	9/25(金)
提案理由の説明・決算審査報告	一般質問（前半）	一般質問（後半）	委員長報告・討論・採決

委員会報告

総務教育常任委員会

企画課

「おおかみこどもの森づくり」の看板はどのようなデザインで、どこに設置するのか。

スタジオ地図から提供されたデフォルメ素材を使い、地域おこし協力隊のルーカス氏がデザインする。植樹地の道沿いに設置するメイン看板は、撮影を楽しめるフォトスポット化を検討している。また、目的地までの距離を示す小型の案内看板も設置予定であり、詳細は今後決定する。



◎報告

「地域とつながる富山暮らし体験事業」の概要は。また、体験プログラムの作成はどこが担っているのか。

都市圏の移住検討者が約一週間滞在し、農業や登山、町歩きなどの地域体験をSNSで自ら発信する県のモデル事業で、県内では上市町と射水市のみが実施している。プログラムは県から委託された事業者が参加者の希望を聞いて作成し、地域の農家への訪問や、地域おこし協力隊との関わりなどを通して深く交流する。

財務課

義務教育学校建設費の財政見通しが2年間前倒しになった理由は。

当初の概算要求段階における試算から、事務費などを含めた詳細な試算を反映させたため。なお、今後の情勢によって金額や時期が変更となる可能性もある。

教育委員会

上市中央小及び宮川小の校舎解体を計画から外した理由は。

補助金の適用条件や、数年先の跡地利用が不確定であることを考慮し、計画から外した。解体も確定していない。建物は老朽化しているが、民間からの利活用提案や需要を踏まえ、最善の活用策を検討する余地を残している。

物価高や消費税アップで建設費が増えた場合も、議決が必要か。

あらかじめ想定している物価の上昇分（物価スライド建設費1・5%以上、運営費3%以上）や消費税の変更であれば、再議決は不要である。ただし、予期せぬ追加工事などで上限額を超える場合は議会の議決が必要となる。また、正式な契約時には工事費について議会で審議される。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査は了承。

産業厚生常任委員会

病院

◎報告

南3階病棟の2床を減らす理由と、今後の計画・補助金はどうなっているか。

分娩休止により使われていない「未熟児室・新生児室の2床」を廃止し、**今後は産後ケアの部屋**として有効活用する。病床を減らす国の補助金（1床あたり4１０・４万円、**計８２０・８万円**）を活用する。



町民課

町が作成した生ごみ水切り器の配布・普及状況は。

本年8月下旬から地区公民館やカミール等において**約３０００個を配布**したところ、わずか半月足らずで在庫がほぼ無くなる状況となった。今後は、町民から募集した標語を入れたものを各施設へ補充し、さらなる普及を図っていく。

産業課

日本ゼトックからの企業立地補助金の返還と跡地への進出企業の状況は。

日本ゼトック（本年5月に操業停止）の10年間操業要件未達成分について、**７４９万２０００円の返還**を受けた。跡地については、水橋に拠点を置く企業（㈱渡邊薬品）が進出する。

◎報告

つるぎの味蔵の今後は。

指定管理から**賃貸方式へ変更**する。業種を問わず**公募型プロポーザル**をすることで、多様なアイデアや提案を広く募り、今までにない魅力ある施設となることを期待している。

建設課

下水道受益者分担金が23万円から30万円へと引き上げられる理由は。

物価高騰や労務費上昇を踏まえたもので、中新川広域行政事務組合議会で7月に同議案が可決されている。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査は了承。

決算審査特別委員会

【一般会計・特別会計】

学校教育施設整備基金約８億円は、今後どのように使うのか。

義務教育学校の建設時に必要な、一般財源の一部として充てる計画である。

富山空港ターミナルの有価証券（１６６万円）の売却理由と、その収入の計上先は。

富山空港の民営化に伴い、保有していた有価証券全てを、運営会社に譲り渡すこととなったため。収入は財産収入として計上した。

墓地公園の起債について、繰上償還を行った理由は。現在の起債残高はゼロか。

令和６年度末の繰越額が約８５０万円と多くなり、資金に余裕ができたため。これにより現在の起債残高は０円となっている。

【病院事業会計】

収支改善に向け、今後どのような取り組みを進めるのか。

医師の確保や救急患者の受け入れを増やすとともに、診療報酬の適切な請求を徹底する。また、ＬＥＤ化や後発医薬品の活用などの経費削減も積み重ねていく。



【下水道事業会計】

流動比率が24・2％となっているが、今後の資金繰りの見通しは。

一般会計からの繰入金や資本費平準化債を活用して運営している。今後は適切な財政支援や企業債の償還管理により、安定した運営を継続する。

【水道事業会計】

管路経年化率42・4％に対し、更新率は０・９％。今後の老朽管更新をどう進めるのか。

２０２０年から２０３０年までの計画に基づき、必要な管路を順次更新している。古い管路や漏水の多い場所、ネットワーク上重要な管路などを優先し、財政面も考慮しながら更新を進める。国の補助制度もできるだけ活用していく。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決及び承認した。

学校のあり方検討特別委員会　令和８年９月２日開催

事業費の総額

約150億円



※設計・建設費＋維持管理・運営費（15年7ヶ月分）含む

【施設規模】延べ床面積　13,567㎡
【整備内容】
校舎・こども図書館
上市中学校既存校舎の解体撤去
【校舎の活用方針】
特別教室や体育館などを地域に開放し、地域と連携・協議する交流拠点としての学校づくりを目指す
【開校時期】令和14年４月１日

長寿命化改修に関する専門家の見解

構造上の制約や多額の改修コスト、学習環境への悪影響など多くの課題があり費用対効果が見込めないため、改修ではなく新築の方針とする。

Q A 委員会での主な質疑

Q…当初の計画から増額となった事業費の算出根拠は？
A…近県の先行事例や令和８年度の国の新営予算単価を基に算出した。

Q…上市中央小学校及び宮川小学校の解体が延期になった理由は？
A…解体時期が先で、将来の工事費や跡地の使い方を今の段階では見通しにくく、解体時期を見すえて跡地利用を含めて検討する。

Q…学校開放の具体的な考え方は？
A…特別教室などを放課後や休日に子どもや地域へ開放する。新しい施設を増やすのではなく、既存スペースを有効活用する。

Q…義務教育学校の一番の特徴は？
A…子どもたちがのびのびと学べるゆとりある教育環境の実現である。勉強しやすい空間と学習スペースを最優先に考えている。

一般質問



東条叙宏 議員

義務教育学校の問題

議員　新築や入札を止めるのではなく、事業条件の変化に備え、長寿命化改修を選択肢として残すため最低限の調査を行う考えは。

町長　具体的な調査は行っていない。専門家から、教室を拡げることが構造上現実的に不可能であること、仮設校舎が必要になることなどの課題があり、増築も伴えば新築と比べ費用対効果は望めないとの意見を得ている。

現時点で調査予算は考えていないが、入札が万が一成立しない場合、事業全体を見直す可能性は一概に否定しない。

教育とごみ減量を問う

上市高校の未来

議員　子どもたちから選ばれる高校にするため、町としてどのような高校像を描き、県へ働きかけるのか。

町長　上市高校は町にとってなくてはならない。キャリア教育には成果がある一方、志願者増加につながっていないことが課題。

普通科への変更も県に要望しており、今後も魅力づくりと存続に向け取り組む。



上市高校生の職業を知る会

ごみ減量の課題

議員　なぜ10％減量するのか。有料化せず減量を進める理由と今後の方向性は。

町長　当町の1人1日可燃ごみ排出581グラムは構成市町村で最も多い。排出量が減らなければ、広域圏のごみ処理費用の負担割合が増えるため、まず10％減量に取り組む。3年間結果を見て、減らなければ有料化を選択する可能性もある。

議員　選択肢を持ち、町民に必要な情報を示し、その時々で町にとって最善の判断をしていく。将来の町に責任を持つ視点を大切にしていただきたい。

一般質問



百塚由紀 議員

義務教育学校の町の負担は

議員　令和7年の町長選挙時に示されていた「町の負担を総事業費のおよそ3分の1まで抑える」との見通しは。

町長　資材費や人件費等の高騰により工事価格の大幅な上昇が見込まれる一方で、国庫負担金に係る補助単価の伸びが追いついていないこと等から、現時点で町の実質的な負担は約4割程度の見込み。

議員　町長が掲げた「無理のない財政計画」の見通しは。

町長　直近の試算では、実質公債費比率は令和17年度頃から十数年20％程度となるものの、早期健全化判断基準の25％を上回ることはないと見込んでいる。

不要な事業費の縮小や思い切った事業のスクラップなど、予算全体を大きく見直し、財政運営全般に支障が出ないよう努める。

議員　事業費が増加した場合、整備内容を見直す判断基準は。

町長　事業者が選定されれば、その提案内容に基づいて契約するため、内容を大きく見直すことは難しい。財政状況に細心の注意を払い、財源確保に努め、事業を円滑に遂行できるよう努力する。

議員　整備事業費や町の負担、計画の変更内容・理由を町民にどう情報提供するのか。

町長　実施事業者決定後、全体事業費、完成予想図、設計内容、工事スケジュール等の概要をまとめ、ホームページや広報上市で町民に分かりやすく情報提供していく。

主な施設の変更

施設名	基本計画（R7.3）	現在（R8.9.2時点）
町立図書館※	新設	本事業から除外
放課後児童クラブ	新設	本事業から除外
生きがいデイサービス室	新設	本事業から除外

※　こども図書館は新設されます。

基本計画からの変更例

〈その他の質問〉

学校給食における基本調味料の選定と食育

一般質問



廣田　透 議員

大人の学びの場を

空き校舎をリスキリング拠点に

議員　近年、大人の学びなおしが重要視されている中で、空き校舎をリスキリング（学びなおし）拠点として活用出来ないか。

学校建設室長　旧白萩西部小学校と旧陽南小学校の校舎等の利用については、旧白萩西部小学校の体育館を民間事業者に貸し出し、屋内全天候型トランポリンパーク等として活用してもらうこととしているが、その他は公共的な利用を優先として、地元や関係機関との協議を進めている。

現段階では、具体的な施設名や事業者名を申し上げることはできないが、これらの利用を前提とした上で、なお見込まれる空きスペースについては、民間事業者への貸し出しも視野に入れたいと考えている。議員提案の「学びの場」として、民間事業者に活用してもらうことも、そうした選択肢の一つになりうるものと考えている。

なお、今後設置を予定している義務教育学校においては、放課後、休日等授業で使用しない時間帯において、特別教室などを地域や事業者へ開放することを想定している。

本事業を受託する民間事業者からの提案に応じて、大人の「学びの場」の提供も含めた、地域交流の拠点として活用できればと考えている。



スキルアップをめざそう！（イメージ）

〈その他の質問〉
AIデマンド交通導入の可能性は

一般質問



伊井勇治 議員

住民生活に安心感を与えてほしい

安心・安全なまちづくり

議員　イノシシ、サルなどの箱ワナの設置を望む。更に、電気柵の設置費用の助成を望む。

産業課長　イノシシ捕獲対策として町有害鳥獣被害対策協議会では、中山間を中心に53基の箱ワナを設置し、令和7年度では173頭を捕獲している。また、被害額は約1300万円で前年度の約5000万円から減少しており、箱ワナ設置の効果が発揮されていると考えられるが、箱ワナによる捕獲は、侵入経路の調査など相当程度の時間が必要であることから、用途地域となると電気柵が効果的であると思われる。また、助成制度については、県の鳥獣被害対策強化支援事業があるが、集落全体で取り組む計画が必要で非農家が多い用途地域では使いづらい制度である。その点、町鳥獣被害対策協議会の補助金は受益を受ける農家3戸が集まれば活用可能であり、産業課までご相談願いたい。

議員　大坪地域工業団地の工事の進捗は、予定のとおり進捗しているか。物価高に伴う団地造成事業全体のコストと予算への影響は問題ないか。さらに、売却時期及び企業への募集条件をどのように考えているか。

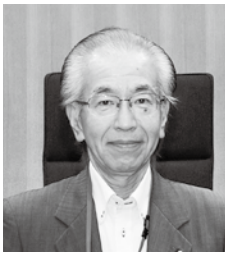
産業課長　工事の完成は、令和10年末を予定していたが、9ケ月程度早まっている。一日も早く完成し10年度当初から販売したい。

コスト面であるが、上市川第2ダムで浚渫した公共残土等の活用でコスト削減となり予算内で進捗している。

また、造成地に隣接していた土地所有者が不在となり家族と協議した結果、解体された土地を取得した。

誘致する企業の募集条件は、一定の雇用が見込め、町内企業とも親和性の高い製造業を誘致戦略の大きな柱としたい。県と緊密に連携して企業誘致の実現を図りたい。

一般質問



酒井一好 議員

RSウイルス感染症重症化予防を

議員　RSウイルス感染症は、発熱や咳などを引き起こす呼吸器の感染症で、一般的に乳幼児の病気として知られているが、高齢者や基礎疾患のある方が感染した場合には、肺炎などを引き起こし重症化する等の報告がある。上市町では、高齢者のRSウイルス感染症について、現在どのような認識か。

福祉課長　高齢者のRSウイルス感染症の本町における発生状況については、全数把握の対象外となっており、症状も風邪に似ていて詳しい検査をしない限り診断は困難とされていることから、受診や入院の状況は把握できていないが、重症化はフレイルの進行や介護負担の増大にもつながる重要な課題であると認識している。

議員　予防投資の観点から、高齢者RSウイルスワクチンへの助成について重症化・入院の抑制、健康寿命の延伸、介護予防、さらには将来的な医療・介護費の抑制という観点から、費用対効果を検証する考えはないか。

福祉課長　今後の国の制度改正の動向を注視し町内医療機関とも連携し、実態把握や他自治体の助成事例など調査研究していく。

議員　高齢者のRSウイルス感染症について、町の広報紙やホームページ、健康教室などを活用し、町民への正しい情報提供を。

福祉課長　RSウイルス感染症の重症化リスクについては、ホームページ等を活用し、できるだけ早く情報提供を行い、町民の健康づくりと適切な選択を支援できる環境づくりに努めていく。

議員　町民の命と健康を守るために何ができるのかを考え、「病気にならない」「病気になったら支える」だけでなく、「病気にならない、重症化させない」ために、より力を入れるようお願いする。



〈その他の質問〉
上市町こども計画について

一般質問



酒井桂之 議員

富山地方鉄道鉄道線の利用促進と支援を

議員　富山地方鉄道鉄道線再構築検討会の検討の進捗状況は。

町長　検討会及び本線部会が5月と7月の2回開催され、昨年度の富山地方鉄道本線あり方調査事業における最終報告を精査するとともに、全線維持の是非等を議論した。

本線部会では今後の鉄道再構築に必要な費用や沿線市町村の負担額の話がこれまでの会議で一斉議論されてない。

次回の会議で、本線に係る事業費の規模や沿線市町村の負担額がある程度示され、町として了承できる内容であれば、町内の鉄道施設の整備や鉄道利用促進のための具体的な事業内容の検討に入りたい。

沿線市町村の負担割合は、今後7市町村での話し合いで決定することとなるが、上市町は鉄道の存続が確定していた富山駅から滑川駅までの区間にある点を十分に配慮した配分となるよう要望する考えである。

議員　本線部会による上市駅ー宇奈月駅間の検討状況は。

町長　令和8年7月に開催された第2回の本線部会で、本線全線を維持する案に絞って議論を進める方針が県より示された。

議員　上市駅パークアンドライド駐車場の設置は。

町長　利用台数が多い新相ノ木駅のパークアンドライド駐車場を、町が中心となって駐車場スペースの拡張の可能性を検討する。それと併せて上市駅のパークアンドライド駐車場の整備についても富山地方鉄道で検討していただけるよう働き掛ける。



たくさんの参加者でにぎわったカミ鉄の旅

一般質問



廣田泰三 議員

地域おこし協力隊

議員　地域おこし協力隊のこれまでの現状と支援。

企画課長　これまでに7名の隊員が卒隊し、5名が町に定住している。定着率は71・4％で全国平均を上回っている。町に残った卒隊員たちは地域に根を下ろし地域に貢献してくれている。

　農業や観光業務等に従事しており、生産した有機米をふるさと納税の返礼品にしたり、来町された移住体験ツアー客等をアテンドするなど、在任中の経験を活かし活躍している。

　また、「上市町地域おこし協力隊ネットワーク」を発足させ現役と卒隊者が連携し、情報交換や住民、行政、団体との結びつきを深めている。

　現役の地域おこし協力隊員はそれぞれの専門性を活かした多彩な分野で活動を展開している。

　卒隊後の定住に向けては日頃からのきめ細やかなサポートが不可欠であり、定期的・継続的なミーティングによる進捗管理や隊員のネットワークを通じた横のつながりの強化に努めている。隊員が活動する最大3年間で地域との関係性を深め、卒隊後も安心して上市町で暮らし続けられるよう引き続きサポートに努める。





インターンシップの大学生を案内する地域おこし協力隊

〈その他の質問〉
・災害時の避難所運営
・大学連携上市体感インターンシップ事業

一般質問



碓井憲夫 議員

農業をやりたい若者へ支援を

議員　農業従事者の減少、遊休農地が増え地域の未来が不安である。思い切った施策が必要である。

県内外から農林業を目指した若者の移住があり、富山市から定期的に農業に通う若者達もいる。空家、遊休農地に農業をめざす若い世代の移住の相談がある。こうした若者達はお世話する体制を必要としている。

農業関係団体と連携が必要であり、要の役割を行政が果たさねばならない。

農業関係団体と連携し①居住②研修先③農地をお世話する体制を

産業課長　町では、農業をやりたい方には、農林振興センターやJAアルプスなどの関係機関とともに面談を行い、その後の各種支援策についても協議・検討を行っている。居住先は町内の不動産業者のほか、町の0円空家バンク制度等の紹介は可能であり、また、研修先は希望される農業を経験することができる経営体のほか、とやま農業未来カレッジも紹介している。新規就農希望者は水稲を始め、大麦や大豆、果樹、園芸など多品目についての通年研修を受けることができ、農地については農業委員等を紹介するなど、これまでも関係機関が連携し支援に努めている。

議員　「ちゃんとやってます。」との答弁ですが、草刈りをやっていただける方に0円で農地を明け渡したいという相談がある。

　富山市から来て、南加積地区や白萩地区の空き農地で農業をやっている若者から農機具のリースの相談もある。

　ホームページで「上市町で農業やりませんか。お世話します。」としっかりとPRしていただきたい。



新規就農者が根付く町を目指して

議会広報特別委員会行政視察（8月27日）
神奈川県山北町



廣田　透

神奈川県山北町の議会広報は、令和7年町村議会広報コンクールで、表紙デザイン賞グランプリを受賞し、内容も優れていることから、今回視察研修に伺った。

山北町議会の広報広聴委員会は、広報班と広聴班で構成され、「町民が主役」の紙面づくりを重視している。

特徴として、広報モニター制度を設け、Google フォームを活用したアンケートや年一回の直接対話を通じて町民の声を反映し、継続的な改善につなげている。

広聴活動では、議員と町民の意見交換の場として「出張おしゃべりカフェ」を開催し、住民の意見を政策提言につなげた事例も紹介された。

町民から出た意見を、ホームページや広報紙の特集でフィードバックし、次へ循環させている。

今回の視察を通じ、町民が知りたい情報を分かりやすく伝えること、紙面の行政チェックに対して議会側が主体性を持つこと、住民の声を広聴活動から政策につなげることの重要性を学んだ。

上市町議会においても、若い世代や家族層への発信を意識し、広報紙の改善やデジタル媒体の活用、住民との対話機会の充実に取り組んでいきたい。



貴重な意見が聞けました



表紙グランプリ受賞作品



山北町議場にて

追跡レポート　その後実った議会での提案・要望

学校給食への有機食材の活用は

令和6年12月定例会　一般質問

その後

上市町産の自然栽培米を給食に！

元地域おこし協力隊の作る、上市町で栽培された自然栽培米を町が購入し、令和7年12月に学校給食で提供しました。





地域おこし協力隊による インバウンド対応は

令和7年3月定例会　一般質問

その後

外国人観光客の誘致や情報発信を実施！

地域おこし協力隊として活動したカレン・ヘンドリクソンさんが、外国人観光客の誘致や上市町の魅力発信に取り組んだ。

上市町公式 YouTube でも、町の観光や地域の魅力を動画で発信。



滑川市議会・上市町議会親善交流研修会（7月27日）
滑川市立博物館



酒井一好

恒例の滑川市議会との交流研修会が行われ、今回は滑川市立博物館で開催中の「なめりかわ昭和レトロ博～マチ・コト・ヒト・モノ～」特別展を視察した。



この特別展は昭和改元から百周年となる節目に、「ふるさと滑川」の昭和を多彩な側面から紹介され、昭和という時代が滑川の町並み、産業、交通、暮らし、人間関係をどう変えたのかを、地域に残る資料から具体的にたどっている。



懐かしい昭和期の居間



ゼンマイ式蓄音機

ゼンマイ式蓄音機によるレコード演奏も行われ、電気を使わず、針の振動を木箱の内部で増幅する昭和初期の「音」まで体感でき、大変感動した。昭和期の居間を再現した展示もあり、懐かしく感じた。

このような展示を通して、「昔は良かった」と懐かしむだけではなく、街の変化と人々の選択を現在の課題に結び付けることが大事であり、「なぜ街の姿が変わったのか」「今後何を残すべきか」を考える材料になると感じた。

上市町でもこのような資料があれば、学校統合、上市高校の将来、富山地方鉄道、中心市街地の再生といった現在の課題を考える際に、「町民が何を大切にしてきたか」をよりよく確認出来るのではないかと感じた次第である。

中新川郡町村議会議長会視察報告（8月21日）
ALSOKとやま四季防災館



松本　寛

四季防災館を視察し、災害発生時の備えや避難について、さまざまな体験を通して学びました。

地震体験では、阪神・淡路大震災、熊本地震、東日本大震災、能登半島地震など、実際に発生した地震の揺れを体感しました。阪神・淡路大震災では下から突き上げるような揺れ、能登半島地震では大きな横揺れが続くなど、地震によって揺れ方が異なることを実感。

家具の転倒や物の落下など、身近に潜む危険についても改めて考える機会となりました。

更に冠水した道路では、わずかな水深でも水圧によって車のドアが開けられなくなることを実感しました。「まだ大丈夫」と判断して避難が遅れることや、冠水した道路を車で移動することの危険性を知り、早めの避難が命を守ることを強く感じました。



暴風体験



能登半島地震の揺れ体験

災害はいつ起こるか分かりません。今回の体験を、日頃からの備えや地域の防災意識の向上、そして町の防災対策につなげていきたいと思います。



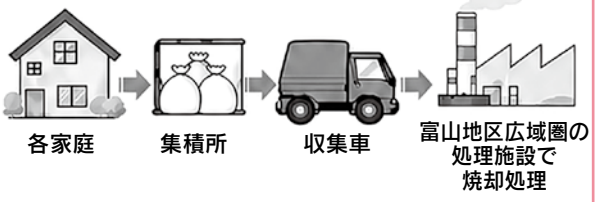
水害・津波のVR体験

特集 上市町のごみ処理を考える

第1回 きれいなまちを次世代に

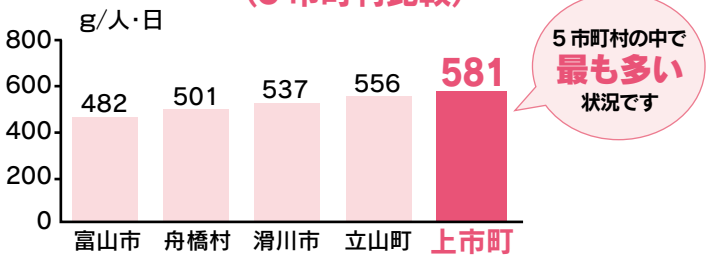
～私たちが出したごみは、どこへ行き、どれくらいの費用がかかり、どう減らしていくのでしょうか。～

1 燃やせるごみはどこへ行く？



上市町の燃やせるごみは、富山市・滑川市・立山町・上市町・舟橋村で構成する富山地区広域圏の施設に運ばれ、焼却処理されています。
ごみを減らすことは、処理施設への負担を減らすことにつながります。

2 令和7年度 1人1日あたりの可燃物搬入量（5市町村比較）



※ 令和7年度の可燃物搬入量を、各市町村の計画収集人口から算出。1人1日あたりの量に換算。
※ 家庭系・事業系を含みます。

3 ごみ処理にかかる費用

約2.1億円（年間）



ごみを減らすことは町の財政負担の軽減にもつながります。

約11,500円（町民1人あたり/年）

内訳：収集・運搬費　約1億5050万円/
富山地区広域圏への負担金　約6295万円　他

※ 令和7年度当初予算に基づく見込みです。
※ 町民1人あたり総額は人口18,550人（令和7年4月1日現在）で算出。

4 町の減量目標 581gから520gへ

1人1日あたりの燃やせるごみの量を、令和7年度の581gから令和9年度末までに520gへ減らす目標を示しました。

581g（令和7年度） ➡ **520g**（令和9年度）

1人1日約61gの削減目標



5 まずは生ごみの水切りから

生ごみは水分を多く含むため、水切りをすることで重さを減らすことができます。上市町では生ごみ水切り器を各地区公民館で無償配布しています。
食べ残しを減らすことも、ごみ減量につながります。



町で配布している水切り器

水切りのポイント

1. **ぬらさない**
   野菜の皮などはぬらさないようにする
2. **しぼる**
   三角コーナーや水切り器でしっかり水を切る
3. **乾かす**
   茶がらや野菜くずは少し乾かしてからすてる

6 資源は分けて、燃やせるごみを減らす

ごみを減らすのは「少なくする」だけではありません。
ペットボトルや紙類など、資源になるものを燃やせるごみに混ぜず、正しく分別することも、燃やせるごみの減量につながります。



7 富山市では家庭ごみ有料化へ

富山市では、令和9年10月から家庭ごみ有料化が導入される予定です。

令和9年10月（予定）
1Lあたり －1円－



➡ 45Lなら **1枚45円**

※ 対象は「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」。
※ 家庭ごみの量に応じた課金です。

町の方針

町民の皆さんからさらなる負担を求めるのではなく、町民の皆さんの自主的な意識改革と生活の改善を通じて、ごみの減量を実現していく。
・食べ残しをしない　・生ごみは水気を切る　・分別を徹底する

編集にあたって

今回は第1回として、上市町のごみ排出量や処理費用、町が示した減量目標と身近にできる取組を紹介しました。上市町は現時点で家庭ごみを有料化せず、減量を進める方針です。今後も、ごみ処理費用や広域圏組合への影響などを確認し、継続してお伝えします。
まずは「食べ残しをしない」「水を切る」「分別を徹底する」ことから始めましょう。



（東条叙宏 議員）

みんなでつくる　きれいな上市町

町民の声 紹介



広　野
酒井義彦さん

広野の見晴らしの良い家で、ヤギの親子とたくさんのにわとりと暮らしています。朝、ヤギたちが仲良く草を食み、にわとりが元気に駆け回る姿を眺めるのが、私の楽しみの一つです。卵を集めて出荷することも、毎朝の大切な日課。動物たちの息づかいを身近に感じながら、自然とともに暮らせることのありがたさを実感しています。そんな何気ない日々を、これからも大切にしていきたいと思います。

●議会に期待することは

農業は、地域の暮らしや風景を支える大切なものです。これからも農業を守り、若い人たちが「農業をやってみたい」と思える環境をつくってほしいと思います。地域の声に耳を傾け、自然と人がともに暮らせる、住みよい町を目指してほしいと期待しています。



横法音寺
小林桐子さん

昨年、移住者として横浜から家族で上市町へ引っ越してきました。海外で長く住んでいたこともあり、新しい土地でまた一から生活を築いていく不安がありました。特に、困ったときに「助けて！」とすぐに言える人がいないということが、一番こわかったように思います。ところが上市に来てみると、出会う人みんなが、まるで前から知り合いだったっけ？と思うくらい親身に接してくださりました。

●議会に期待することは

私は、「干渉をする」と「お節介を焼く」は全然違うと思っています。干渉は一方的で自分勝手なものですが、お節介は、相手を思いやる、優しい気持ちがあります。一人暮らしのお年寄りに「元気？」と声をかける人。世話を焼いてくれるおばあちゃん。困っている人を黙って助けてくれるお兄ちゃん。私は、こうした町の人たちの小さな善意や行動に、もっと町がスポットを当て、皆んなに発信してほしいと思います。行政の取り組みや成果というのは、私たち住民には自分事として見えないことが沢山あります。でも、日常の中にある小さな優しさを町が見つけ、伝えていくことで、一人一人が自分ごとと捉え「自分もやってみよう」と思えるきっかけになるのではないでしょうか。都会では、残念なことに他者とのつながりが希薄になっています。だからこそ、上市に今ある「一素敵なお節介」をこれからも守り、育てていって欲しいと思います。

12月上市町議会定例会日程

期日	会議内容
8日(火)	● 本会議（提案理由の説明） ● 全員協議会
14日(月)	● 本会議（一般質問、質疑、委員会付託）
15日(火)	● 総務教育常任委員会
16日(水)	● 産業厚生常任委員会
18日(金)	● 全員協議会 ● 本会議（委員長報告、討論、採決）

◆ **本会議はどなたでも傍聴できます。委員会については、議会事務局にお問い合わせください。**

会議録の閲覧

インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。（定例会終了後約2カ月後に更新されます。）

議会会議録検索
https://www.town.kamiichi.toyama.dbsr.jp/

「声」の募集

町民の声コーナーに、ひと言お寄せいただける方を募集しています。各議員または議会事務局までお知らせください。

議会広報特別委員会

委員長　廣田　透
副委員長　當波紀子
委員　百塚由紀
　　東条叙宏
　　酒井一好
　　廣田泰三
　　伊井勇治
　　松本寛

編集後記

今年の夏も厳しい暑さが続きましたが、ようやく秋の深まりを感じる頃となりました。

議会で交わされた議論や提案が、その後どのように町の取り組みにつながっているのか。今回「追跡レポート」を担当し、その後の動きを改めて振り返りました。

議会広報が、町民の皆さまに「議会ではこんなことが話し合われているんだ」と、少しでも議会を身近に感じていただくきっかけになればと思います。

これからも皆さまの声に耳を傾けながら、議会の動きが伝わる、分かりやすく手に取って読んでいただける議会広報を目指してまいります。

（百塚由紀）

連絡先　上市町議会
〒930-0393 富山県中新川郡上市町法音寺１　☎076-472-2550　FAX076-472-1115　ホームページhttps://www.town.kamiichi.toyama.jp